



2022年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月14日

上場会社名 株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
 コード番号 6668 URL <https://www.adtec-rf.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 秀法

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長 (氏名) 坂谷 和宏

TEL 084-945-1359

定時株主総会開催予定日 2022年11月25日 配当支払開始予定日

2022年11月28日

有価証券報告書提出予定日 2022年11月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期の連結業績(2021年9月1日～2022年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期	12,337	54.2	2,735	148.1	3,051	162.9	2,174	148.5
2021年8月期	8,003	12.1	1,102	26.1	1,160	30.5	875	34.9

(注) 包括利益 2022年8月期 2,660百万円 (185.3%) 2021年8月期 932百万円 (47.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年8月期	253.56		27.2	18.1	22.2
2021年8月期	101.96		13.6	9.5	13.8

(参考) 持分法投資損益 2022年8月期 百万円 2021年8月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年8月期	20,833	9,155	43.9	1,066.53
2021年8月期	12,914	6,844	52.9	795.56

(参考) 自己資本 2022年8月期 9,146百万円 2021年8月期 6,828百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年8月期	1,583	1,709	4,207	4,038
2021年8月期	185	226	169	2,679

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年8月期		5.00		7.00	12.00	103	11.8	1.6
2022年8月期		6.00		8.00	14.00	120	5.5	1.5
2023年8月期(予想)		8.00		8.00	16.00		6.1	

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,700	15.3	1,250	1.1	1,390	7.1	990	4.7	115.44
通期	14,800	20.0	3,100	13.3	3,200	4.9	2,250	3.5	262.36

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年8月期	8,586,000 株	2021年8月期	8,586,000 株
期末自己株式数	2022年8月期	9,861 株	2021年8月期	2,141 株
期中平均株式数	2022年8月期	8,577,307 株	2021年8月期	8,583,898 株

(参考)個別業績の概要

2022年8月期の個別業績(2021年9月1日～2022年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期	10,439	69.8	1,433	119.8	2,005	168.0	1,396	151.0
2021年8月期	6,146	3.1	652	11.0	748	5.5	556	9.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期	162.78	
2021年8月期	64.80	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2022年8月期	16,229		6,596		40.6		769.18	
2021年8月期	9,184		5,328		58.0		620.72	

(参考) 自己資本 2022年8月期 6,596百万円 2021年8月期 5,328百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不安定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	18
(1) 生産、受注及び販売の実績	18
(2) 役員の変動	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルスの新たな変異株による世界流行、ウクライナ情勢の長期化等による地政学リスクの増大などに伴う原材料価格の上昇やサプライチェーンの混乱、半導体等の部材供給不足の長期化、各国インフレ抑制に向けた金融引き締めに伴う景気後退懸念の高まりなど、世界経済の先行きに対する不透明感が高まりました。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、ファウンドリやロジックメーカーにおける先端投資が行われるとともに、中国の半導体内製化へ向けた投資が行われるなど、半導体関連の投資は活発に推移いたしました。

当社等は、好調な受注環境の中、国内外における生産ラインの整備を進めたことにより、生産能力を拡大することはできましたが、部材調達において半導体等の需給逼迫の影響により遅延が生じ、生産計画の見直しを迫られました。

このような状況の中、半導体市場の更なる成長に備えるため、当社等は主要生産拠点のベトナム子会社において第2工場建設の準備を進めるとともに、当社においても資材倉庫の建設に着手いたしました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、前連結会計年度にあった大型案件がなかったものの、リピート品や小型案件、定期点検等の保守サービスを獲得し、堅調に推移いたしました。

この結果、当社グループの当連結会計年度における経営成績は、売上高12,337,352千円（前期比54.2%増加）、営業利益2,735,779千円（前期比148.1%増加）、経常利益3,051,319千円（前期比162.9%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益2,174,874千円（前期比148.5%増加）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、売上高11,385,477千円（前期比68.7%増加）、営業利益2,623,149千円（前期比166.0%増加）となりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、売上高951,874千円（前期比24.2%減少）、営業利益38,374千円（前期比45.3%減少）となりました。

当連結会計年度の経営成績は、次のとおりであります。

単位：千円

項目	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)		当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上高	8,003,320		12,337,352	
売上総利益	3,157,714		5,399,021	
営業利益	1,102,501		2,735,779	
経常利益	1,160,608		3,051,319	
親会社株主に帰属する当期純利益	875,218		2,174,874	

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

単位：千円

項目	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)		当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
半導体・液晶関連事業（当社等）	6,748,175	986,155	11,385,477	2,623,149
研究機関・大学関連事業（IDX）	1,255,145	70,174	951,874	38,374
合計	8,003,320	1,056,329	12,337,352	2,661,524

(注) 1. 売上高は、各セグメントの外部顧客への売上高を表しております。

2. 営業利益は、各セグメントの営業利益を表しております。

(注) 文中表記について

(当社等)

当社、Adtec Technology, Inc.、Adtec Europe Limited、ADTEC Plasma Technology Vietnam Co., Ltd.、ADTEC Plasma Technology Korea Co., Ltd.、ADTEC Plasma Technology Taiwan Ltd.、SUZHOU CUIZHUO LIMITED及びAdtec Healthcare Limitedを表しております。

《商号変更》

年月	変更前	変更後
2022年6月	Hana Technology Co., Ltd.	ADTEC Plasma Technology Korea Co., Ltd.
2022年8月	愛笛科技有限公司	ADTEC Plasma Technology Taiwan Ltd.
2022年9月	Phuc Son Technology CO., Ltd.	ADTEC Plasma Technology Vietnam Co., Ltd.

(IDX)

株式会社IDXを表しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は20,833,351千円であり、前連結会計年度末と比較して7,919,141千円増加しております。

これは、現金及び預金の増加(1,368,915千円)、原材料及び貯蔵品の増加(2,211,439千円)、建設仮勘定の増加(1,378,422千円)等によるものであります。

当連結会計年度末の負債合計は11,678,280千円であり、前連結会計年度末と比較して5,608,482千円増加しております。

これは、短期借入金の増加(2,400,000千円)、長期借入金の増加(2,084,743千円)等によるものであります。なお、当連結会計年度末における有利子負債残高は9,401,326千円であります。

当連結会計年度末の純資産合計は9,155,071千円であり、前連結会計年度末と比較して2,310,658千円増加しております。

これは、利益剰余金の増加(2,063,330千円)等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して1,359,314千円増加し、当連結会計年度末は4,038,602千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1,583,111千円(前連結会計年度は185,493千円の使用)となりました。

これは、税金等調整前当期純利益3,051,319千円、減価償却費272,206千円、仕入債務の増加額172,227千円等の資金増加要因、売上債権の増加額585,522千円、棚卸資産の増加額3,242,685千円、法人税等の支払額370,533千円等の資金減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,709,969千円(前連結会計年度は226,140千円の使用)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出1,673,954千円、無形固定資産の取得による支出26,414千円等の資金減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、4,207,631千円(前連結会計年度は169,618千円の獲得)となりました。

これは、短期借入金の純増加額2,400,000千円、長期借入れによる収入2,550,000千円の資金増加要因、長期借入金の返済による支出363,989千円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出222,469千円等の資金減少要因によるものであります。

【キャッシュ・フローの指標トレンド】

	2019年8月期	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期
自己資本比率 (%)	55.6	52.7	52.9	43.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	58.9	86.2	111.7	71.4
債務償還年数 (年)	6.0	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	23.7	—	—	—

注1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算定しております。

自己資本比率 : 自己資本 / 総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産
 債務償還年数 : 有利子負債 / 営業活動によるキャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業活動によるキャッシュ・フロー / 利払い

2. 2020年8月期、2021年8月期及び2022年8月期は、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、債務償還年数及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後においても、各国インフレ抑制に向けた金融引き締めに伴う景気後退懸念及び不安定な為替相場により、先行き不透明な状況で推移すると思われま

す。また、地政学リスクの拡大や半導体等の部材供給不足などにより、部材の長納期化や価格上昇の影響は引き続き続くものと見込んでおります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、一部メモリ投資に減速懸念はありますが、最先端ロジックや中国の国産化方針に基づく投資は引き続き堅調に推移すると見込んでおり、当社グループ全体での生産効率の向上や品質向上に注力してまいります。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、一般産業用向けの営業活動を進めることにより、新たな収益基盤の構築に取り組んでまいります。

また、当社グループ全体といたしまして、顧客からの新製品開発ニーズに対応するべく、グループ拠点の活用と優秀な人材の確保及び育成に努めるとともに、営業及び生産面においてもグループ連携の強化を図り、業績進展に引き続き注力していく方針であります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識しております。安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に配慮しつつ、配当につきましては、継続的な安定配当を基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後の財務体質の強化及び市場ニーズに応える製品開発等、積極的に投資し、業況の拡大に努めてまいり所存であります。

2022年8月期の期末配当金につきましては、1株につき8円を予定しております。中間配当金は、1株につき6円実施させて頂いておりますので、年間配当金は、1株につき14円となります。

2023年8月期の配当の予想につきましては、現時点では16円（うち、中間配当にて8円）を計画しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を採用しており、国際会計基準への変更は検討しておりませんが、国際会計基準の動向については、情報収集に努めてまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当連結会計年度 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,908,488	4,277,404
受取手形及び売掛金	1,957,687	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,603,342
製品	624,158	1,233,186
仕掛品	1,817,423	2,483,419
原材料及び貯蔵品	2,999,172	5,210,611
前払費用	60,041	86,901
未収入金	620,290	1,113,646
その他	16,522	15,125
流動資産合計	11,003,785	17,023,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,428,057	1,522,653
減価償却累計額	△752,299	△803,130
建物及び構築物(純額)	675,757	719,523
車両運搬具	43,505	47,172
減価償却累計額	△40,122	△43,954
車両運搬具(純額)	3,382	3,218
工具、器具及び備品	1,495,573	1,880,690
減価償却累計額	△969,115	△1,154,954
工具、器具及び備品(純額)	526,458	725,735
土地	236,519	368,722
使用権資産	164,753	202,077
減価償却累計額	△13,362	△21,582
使用権資産(純額)	151,390	180,495
建設仮勘定	—	1,378,422
有形固定資産合計	1,593,509	3,376,117
無形固定資産	181,259	211,698
投資その他の資産		
投資有価証券	1,400	1,400
繰延税金資産	65,734	140,743
その他	82,872	94,104
貸倒引当金	△14,350	△14,350
投資その他の資産合計	135,656	221,898
固定資産合計	1,910,425	3,809,714
資産合計	12,914,210	20,833,351

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当連結会計年度 (2022年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	436,703	623,240
短期借入金	2,800,000	5,200,000
1年内返済予定の長期借入金	318,989	420,257
未払金	278,955	486,860
未払費用	108,054	196,278
未払法人税等	203,436	765,716
その他	95,438	45,337
流動負債合計	4,241,577	7,737,689
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	1,196,326	3,281,069
繰延税金負債	4,958	21,428
退職給付に係る負債	29,753	35,561
資産除去債務	95,652	101,241
その他	1,528	1,290
固定負債合計	1,828,219	3,940,590
負債合計	6,069,797	11,678,280
純資産の部		
株主資本		
資本金	835,598	835,598
資本剰余金	908,160	717,946
利益剰余金	5,122,864	7,186,194
自己株式	△605	△19,817
株主資本合計	6,866,017	8,719,922
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△37,042	426,782
その他の包括利益累計額合計	△37,042	426,782
非支配株主持分	15,438	8,366
純資産合計	6,844,413	9,155,071
負債純資産合計	12,914,210	20,833,351

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
売上高	8,003,320	12,337,352
売上原価	4,845,606	6,938,330
売上総利益	3,157,714	5,399,021
販売費及び一般管理費	2,055,213	2,663,242
営業利益	1,102,501	2,735,779
営業外収益		
受取利息	732	1,111
為替差益	96,989	352,483
助成金収入	9,056	1,774
受取家賃	1,613	1,560
その他	7,281	5,293
営業外収益合計	115,673	362,223
営業外費用		
支払利息	29,010	41,175
社債発行費	16,539	—
その他	12,016	5,507
営業外費用合計	57,566	46,683
経常利益	1,160,608	3,051,319
特別損失		
投資有価証券評価損	1,340	—
特別損失合計	1,340	—
税金等調整前当期純利益	1,159,268	3,051,319
法人税、住民税及び事業税	296,957	910,840
法人税等調整額	△28,346	△56,529
法人税等合計	268,611	854,310
当期純利益	890,657	2,197,008
非支配株主に帰属する当期純利益	15,438	22,133
親会社株主に帰属する当期純利益	875,218	2,174,874

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
当期純利益	890,657	2,197,008
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	41,894	463,825
その他の包括利益合計	41,894	463,825
包括利益	932,551	2,660,833
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	917,112	2,638,699
非支配株主に係る包括利益	15,438	22,133

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	835,598	908,160	4,342,068	△480	6,085,346
当期変動額					
剰余金の配当			△94,423		△94,423
親会社株主に帰属する 当期純利益			875,218		875,218
自己株式の取得				△125	△125
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	780,795	△125	780,670
当期末残高	835,598	908,160	5,122,864	△605	6,866,017

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	△78,936	△78,936	—	6,006,410
当期変動額				
剰余金の配当				△94,423
親会社株主に帰属する 当期純利益				875,218
自己株式の取得				△125
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	41,894	41,894	15,438	57,332
当期変動額合計	41,894	41,894	15,438	838,003
当期末残高	△37,042	△37,042	15,438	6,844,413

当連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	835,598	908,160	5,122,864	△605	6,866,017
当期変動額					
剰余金の配当			△111,544		△111,544
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,174,874		2,174,874
自己株式の取得				△44,220	△44,220
自己株式の処分		3,050		25,008	28,059
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△193,264			△193,264
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△190,214	2,063,330	△19,211	1,853,905
当期末残高	835,598	717,946	7,186,194	△19,817	8,719,922

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	△37,042	△37,042	15,438	6,844,413
当期変動額				
剰余金の配当				△111,544
親会社株主に帰属する 当期純利益				2,174,874
自己株式の取得				△44,220
自己株式の処分				28,059
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動				△193,264
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	463,825	463,825	△7,071	456,753
当期変動額合計	463,825	463,825	△7,071	2,310,658
当期末残高	426,782	426,782	8,366	9,155,071

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,159,268	3,051,319
減価償却費	201,750	272,206
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,453	6,768
株式報酬費用	—	20,944
受取利息及び受取配当金	△732	△1,111
支払利息	29,010	41,175
為替差損益(△は益)	△128,323	△662,317
社債発行費	16,539	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,340	—
売上債権の増減額(△は増加)	△167,127	△585,522
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,194,006	△3,242,685
その他の資産の増減額(△は増加)	△22,401	△168,769
仕入債務の増減額(△は減少)	175,004	172,227
その他の負債の増減額(△は減少)	175,338	335,842
未払消費税等の増減額(△は減少)	△74,621	△410,429
小計	181,492	△1,170,353
利息及び配当金の受取額	707	1,085
利息の支払額	△27,876	△43,310
法人税等の支払額	△339,816	△370,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	△185,493	△1,583,111
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△29,600	△9,600
有形固定資産の取得による支出	△144,373	△1,673,954
無形固定資産の取得による支出	△52,166	△26,414
投資活動によるキャッシュ・フロー	△226,140	△1,709,969
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	2,400,000
長期借入れによる収入	350,000	2,550,000
長期借入金の返済による支出	△269,564	△363,989
社債の発行による収入	483,460	—
配当金の支払額	△94,152	△111,689
自己株式の取得による支出	△125	△44,220
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△222,469
財務活動によるキャッシュ・フロー	169,618	4,207,631
現金及び現金同等物に係る換算差額	90,767	444,763
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△151,247	1,359,314
現金及び現金同等物の期首残高	2,830,535	2,679,287
現金及び現金同等物の期末残高	2,679,287	4,038,602

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品等の国内販売において、出荷時から当該製品等の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当連結会計年度より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。また、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の販売、生産体制やサービスの類似性に基づき、事業の種類別に区分した単位により事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業の種類別に基づき、「半導体・液晶関連事業」及び「研究機関・大学関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

セグメントの名称	主要製品
半導体・液晶関連事業	高周波電源、マッチングユニット
研究機関・大学関連事業	直流電源

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自 2020年9月1日 至 2021年8月31日）

単位：千円

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大 学関連事業	合計	調整額 (注1、3)	連結財務諸表 計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	6,748,175	1,255,145	8,003,320	—	8,003,320
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,297	5,233	17,530	△17,530	—
計	6,760,473	1,260,378	8,020,851	△17,530	8,003,320
セグメント利益	986,155	70,174	1,056,329	46,171	1,102,501
セグメント資産	10,880,005	2,124,182	13,004,188	△89,977	12,914,210
その他の項目					
減価償却費	166,759	34,892	201,651	99	201,750
支払利息	11,907	17,103	29,010	—	29,010

(注) 1. セグメント利益の調整額46,171千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産の調整額△89,977千円は、セグメント間取引消去等であります。

4. セグメント負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載しておりません。

当連結会計年度（自 2021年9月1日 至 2022年8月31日）

単位：千円

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大 学関連事業	合計	調整額 (注1、3)	連結財務諸表 計上額 (注2)
売上高					
日本	5,258,171	951,874	6,210,046	—	6,210,046
アジア地域	4,100,635	—	4,100,635	—	4,100,635
米国	1,719,613	—	1,719,613	—	1,719,613
欧州	303,662	—	303,662	—	303,662
その他	3,395	—	3,395	—	3,395
顧客との契約から生 じる収益	11,385,477	951,874	12,337,352	—	12,337,352
外部顧客への売上高	11,385,477	951,874	12,337,352	—	12,337,352
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,263	10,667	13,931	△13,931	—
計	11,388,741	962,542	12,351,283	△13,931	12,337,352
セグメント利益	2,623,149	38,374	2,661,524	74,254	2,735,779
セグメント資産	19,109,047	2,137,287	21,246,335	△412,983	20,833,351
その他の項目					
減価償却費	238,879	33,247	272,126	79	272,206
支払利息	24,157	17,065	41,222	△46	41,175

(注) 1. セグメント利益の調整額74,254千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産の調整額△412,983千円は、セグメント間取引消去等であります。

4. セグメント負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載しておりません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(収益認識に関する会計基準等の適用)

会計方針の変更に記載のとおり、当連結会計年度の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

この結果、報告セグメントの売上高及び利益又は損失に与える影響はありません。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2020年9月1日 至 2021年8月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単位：千円

	半導体・液晶関連事業	研究機関・大学関連事業	合計
外部顧客への売上高	6,748,175	1,255,145	8,003,320

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

単位：千円

日本	米国	シンガポール	その他アジア	欧州	その他	合計
4,508,492	917,558	770,202	1,389,312	372,560	45,193	8,003,320

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

単位：千円

日本	ベトナム	その他	合計
863,546	701,773	28,189	1,593,509

(注) 有形固定資産は会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客が存在しないため、記載しておりません。

当連結会計年度（自 2021年9月1日 至 2022年8月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単位：千円

	半導体・液晶関連事業	研究機関・大学関連事業	合計
外部顧客への売上高	11,385,477	951,874	12,337,352

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

単位：千円

日本	米国	シンガポール	その他アジア	欧州	その他	合計
6,210,046	1,719,613	1,639,097	2,461,537	303,662	3,395	12,337,352

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

単位：千円

日本	ベトナム	その他	合計
1,744,498	1,578,436	53,182	3,376,117

(注) 有形固定資産は会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

単位：千円

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ASM Front-End Manufacturing Singapore Pte. Ltd.	1,636,105	半導体・液晶関連事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
1株当たり純資産額	795円56銭	1,066円53銭
1株当たり当期純利益	101円96銭	253円56銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	875,218	2,174,874
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	875,218	2,174,874
普通株式の期中平均株式数(株)	8,583,898	8,577,307

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の実績

a. 生産実績

生産実績を事業のセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	前年同期比 (%)
半導体・液晶関連事業 (千円)	6,600,322	94.4
研究機関・大学関連事業 (千円)	859,010	△32.7
合計 (千円)	7,459,333	59.6

- (注) 1. 金額は、製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

b. 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
半導体・液晶関連事業	17,192,756	90.5	9,623,070	152.2
研究機関・大学関連事業	946,372	△14.7	688,762	△0.8
合計	18,139,128	79.0	10,311,833	128.6

- (注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

c. 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	前年同期比 (%)
半導体・液晶関連事業 (千円)	11,385,477	68.7
研究機関・大学関連事業 (千円)	951,874	△24.2
合計 (千円)	12,337,352	54.2

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・監査等委員である取締役

イ. 新任取締役候補

神原 多恵 (かんばら たえ) (みつば法律事務所 所長)

(戸籍上の氏名 小松 多恵 (こまつ たえ))

(注) 神原多恵氏は、社外取締役の候補者であります。

ロ. 退任予定取締役

岡原 克行

・就任及び退任予定日

2022年11月25日